

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	かみかみごはん
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援 (2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	6人(うち、女性の人数:6人) (令和3年5月時点)

1 事業実施方針

本事業は、能勢町上田尻にあるコミュニティーハウス「照乃みゑ」で農業を楽しむ仲間と、2015年7月より、代表がおこなっている「カム会」という一口50回ご飯を噛んで食べる会で、噛む大切さを知った仲間から生まれた、共通の価値観(農とつながるごはんを真ん中に、子どもと地球が笑う未来を創造する。その手段として、噛むことを推奨し、「おいしい!」「楽しい!」という体験が出来る環境を用意すること)の女性の子育て世代が運営する協議会が行う事業である。この事業が実行されたら、一般社団法人と運ぶ予定である。現在は、代表の元、照乃みゑの田畑にて、みんなと一緒に、無農薬無肥料で、子どもたちと共に、田畑で自然農を楽しみ、交流を深めている。

この能勢町上田尻地域には、子どもがほぼおらず、高齢化問題、少子化問題、空き家問題、不耕作地問題、交通問題など色んな問題が蓄積している。地域の担い手も高齢になってきており、前期高齢者が、多くの田んぼの担い手となり、後期高齢者を支えている。その高齢者の子どもたちは、この場所を離れ、皆、都会で暮らしている状態であり、あと何年、こういうことができるのかという声が聞こえるほど、地域の担い手問題があらわになっている。【上田尻 15歳未満7人 前期高齢者71人 後期高齢者44人 人口総数132人 54世帯 2015年国勢調査より引用】

2015年に代表が空き家であった上田尻275の物件を取得。

代表の子どもが重度アレルギーの疾患があったことや、自分自身の虐待の連鎖による子育て問題から、みんなで繋がって子育てするのが、母子ともに、楽で楽しいと感じる。また、敏感な子供のお陰で無農薬の野菜のおいしさや、手仕事で農業をする楽しみを知る。そんなことから、コミュニティーハウス「照乃みゑ」という場所を作り、子どもと地球が笑うことが好きな仲間と不耕作地であった田畑を、地域の人に聞きつつ、無農薬で耕作するようになった。

皆、農村の空気のおいしさや、田畑の楽しさ、地球と子供を大切に思う同じ価値観の人と過ごす安心安全の心地よさを体感している。ただ、まだ、定住、移住には、難しい問題があるという状況である。(雇用の問題、家族の理解など)

その為、本事業を行うことにより、これらの問題を解決したい。

まず、農に繋がったごはんを中心に子どもと地球が笑う未来を想像したい人を集める。

その仲間で、情報交換し、シンプルで簡単に楽な子育ての時間や豊かな時間を共有する。

そして、地球にも子どもにもやさしい農業を子どもたちと共に、喜び楽しみながら、体験を通して、生産する。居場所ができ、子どもは母が楽しんで仲間と農作業をしている姿を見て育ち、農村や自然、人と関わるのが好きになる。そこで育てた無農薬のお米や野菜を使って、アレルギー対応(卵・乳製品・小麦除去)のオシャレなカフェ(託児付き)を作り、仲間と運営する。カフェを作ることによって、雇用が発生し、家族の理解も得やすくなり、来やすくなり、家族も農村に親近感がわくようになり、定住・移住への道が容易になる。また、カフェに来る人がその楽しく働く姿

を見ることや、農に繋がるおいしいごはんを味わうによって、農村や女性の農業グループに興味を持つ。その興味ある人が、新規参入者となる。また、この居場所があることで、農村に住みたいという人たちが現れる。雇用がある、かつ、コミュニティーもあることから、農村に移住する人たちが増える。

地域においても、不耕作地を耕作し、カフェとして、楽しみながら、運営することで、安心感をもってもらえるようになる。

かつ、カフェが地域の人の居場所にもなり（この地域に外食できる店が一軒もない）、老若男女が交わる場所、都会の人と農村の人が交わる憩いの場所となる。また、噛むことの大切さなど、心身ともに健康で幸せになる情報も流すことで、高齢者の健康に繋がり、子どもたちの未来への健康にも繋がる。

この地域が、栄えて、子どもたちが増え、ひいては、都会に行っていた、高齢者の子どもたちも、戻ってくるようになる。

人口が増え、高齢者問題、少子化問題、空き家問題、不耕作地問題、交通問題が解決する。

また、女性が変わる未来の農村のモデルとなり、全国から視察が来て、他の地域も、いいめぐりになるようになる。

尚、かみかみごはんの主たる活動拠点として、コミュニティーハウス照乃みゑを使用。

現在、照乃みゑには、更衣室、浴室、休憩室はない。上記活動をし、女性新規農業者を増やすためには、第一次産業から、第二次産業、第三次産業への労働に切り替わる際に、更衣室、浴室、休憩室が、必要不可欠である。更衣室、浴室、休憩室を設置することで、女性新規農業者が活動しやすい環境を作り、女性新規農業者を増やす。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

### 実施体制

代表者 1名  
副代表 2名  
事務局 1名  
会計 1名  
農業指導 1名  
外部より、経営コンサルタント 1名

### 事業設備

能勢町上田尻275 コミュニティーハウス「照乃みゑ」の場所、設備を利用し、不備なものは、改修や購入で事業設備を調える。

### 役割分担

- ・当該地域との連絡連携 代表
- ・子育てアドバイス担当者 助産師
- ・農業指導担当者

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 自然農の研修・体験受け入れ</p> <p>2) 情報発信 (情報発信媒体 (メルマガ) ブログ、YouTube)</p> <p>3) 自然系の子育てサークルの実施</p> <p>4) 自然の中で育てたい方の育児サポート</p> <p>(今後の取組)</p> <p>上記活動の継続</p> <p>(1) コミュニティーハウス照乃みゑに、「囃む」ことを推奨したカフェを作る。 女性農業者達が自ら生産した無農薬野菜でアレルギー対応の食事を提供し、運営する。 雇用の発生、女性農業者活躍発信、農村への興味が湧くようなWSの開催など</p> <p>(2) 田んぼ・畑での親子農業体験の実施</p> <p>(3) 無農薬無化学肥料の苗の販売</p> <p>(4) 一般社団法人 かみかみごはんの設立</p> <p>(5) 子育てサポート</p> <p>子育てサークル活動、託児の設置、情報交換</p>	<p>1) 男性 3 名、女性 20 名 (2020 年度)</p> <p>2) メルマガ月 20 日程度 ブログ、YouTube 月 1 程度</p> <p>3) 月 2 回</p> <p>4) 月 1 回</p> <p>1) 2022 年 5 月オープン(目標)</p> <p>2) 月 1 回 (目標)</p> <p>3) 年 50 個 (目標)</p> <p>4) 2021 年 9 月 (目標)</p> <p>5) 月 4 回 (目標)</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 自然農田んぼファミリーにおける農活動の開催</p> <p>2) 自然農に関しての情報交換を通じて (SNS)、自然農の農業技術を促進した。</p>	<p>1) 月 6 回実施</p> <p>2) 月 1 回実施</p>	

<p>3) 収穫祭の実施（地域の人への声掛け・ふるまい）2017年から毎年11月に開催</p> <p>4) 正月用の餅つき、藁を使ったしめ縄づくりの実施2018年から毎年12月に開催</p> <p>（今後の取組）</p> <p>1) 上記活動の継続</p> <p>2) 「カム会」「健康で幸せ講座」の開催 噛むことの大切さ、心身ともに健康で幸せになる情報を流す</p> <p>3) 不耕作地でのグループ農業の体験受け入れ</p> <p>4) 地域の行事（月形の共同作業、地元神社の掃除、会議）への参加</p>	<p>3)2020年11月実施 35名参加</p> <p>4)2020年12月実施 15名参加</p> <p>1) 上記と同じ</p> <p>2)月2回（目標）</p> <p>3)延べ人数30人（目標）</p> <p>4)毎年12回（目標）</p>	
--	--	--

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

### （3）女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>（実施中の取組）</p> <p>1)グループメンバー同士で助け合うサポート体制を構築。</p> <p>（今後の取組）</p> <p>・上記活動の継続</p> <p>（1）無農薬無化学肥料の米や野菜の販売</p> <p>（2）農と繋がった作物を使った加工品の料理教室（醤油・甘酒・お茶・味噌・梅干しなど）</p> <p>（3）子どもと地球が笑う商品の開発</p>	<p>1)子育てしやすくなったとの意見あり。畑を始める人が増える。子育てサークルメンバー5人</p> <p>1)月1回（目標）</p> <p>2)年4回（目標）</p> <p>3)目標2022年3月まで</p>	

（注）農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年9月	活動①：経営コンサルタントによる経営指導と、一般社団法人になるための手続き依頼。	
2021年10月	活動②：活動が活発な他地域女性農業者グループ活動の調査、視察	
2021年10月	活動③：自然派育児をしている親子に人気のカフェを調査・視察し、研究する。	
2021年10月	活動④：野菜やお米の素材の味そのものを生かした美味しいレストランやカフェの調査・視察	
2021年11月	活動⑤：子どもと地球にやさしいことを考えている団体への視察・勉強会に参加	
2021年12月	活動⑥：地元能勢の人気のカフェ・レストランを視察調査	
2022年1月	活動⑦：地元、農業法人田尻農産と連携し、共に繁栄するための会議開催・協力依頼。	
2022年9月～2月	<p>活動⑧：助産師とアレルギー育児経験者とアレルギー疾患の皆が「おいしい」「たのしい」と納得できるメニュー開発商品の新規開発に向けた試作品の開発</p> <p>活動①に関する内容 経営コンサルタントに依頼し、希望を伝え、勉強会を重ねる。</p> <p>活動②に関する内容を記載 ・視察先グループ(計画)：千葉県 ブラウンズフィールド ・視察目的：メニューや運営方法を学ぶ</p>	

	<p>・視察人数：5人</p> <p>活動③に関する内容  視察先（計画）：クレヨンハウス（吹田市）  視察人数：6人</p> <p>活動④に関する内容  視察先（計画）：ゆにわ（枚方市）  視察目的：メニューや人気の理由を探る  視察人数：6人</p> <p>活動⑤に関する内容  勉強先：生活クラブ生協の学び  目的：地球と子どもにやさしいとは何かを勉強する。  視察人数：2人</p> <p>活動⑥に関する内容  視察先（計画）：能勢地域のカフェ  視察目的：メニューや人気の理由を探る  視察人数：6人</p> <p>活動⑦に関する内容  田尻農産にて、話を聞かせてもらう。</p> <p>活動⑧に関する内容  助産師、アレルギー育児経験者、アレルギー疾患者の意見をヒヤリングして、皆で考察する。  アレルギーの事情に関しては、大阪府北摂地方で活動しているつくしんぼ親の会の会員に意見を聞く。  会議回数：7回（計画）</p>	
--	---	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年10月～	浴室、更衣室、休憩室の設置  (5名以上の女性利用者)	t・t建築研究室 (株)の図面参照

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者があることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	24人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 1人、雇用就農者 1人、アルバイト・ボランティア等 22人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。  
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。